

# 心の故郷に帰ってきたような 能登の優しさを体感。

能登漁火ユースホテル



1

①「潮風に当たっているとこんな肌になるんですよ」。76歳とはとても思えないハリとツヤのある肌。「懐かしい人が訪ねて来てくれるから、それにつられて気が付けば開業して53年です」と笑顔で話す浜野マネージャー

## 53年の歳月をホステラーと

## 一緒に歩んできた笑顔の年輪

本州から日本海に手を伸ばすように突き出した能登半島は、古くは縄文時代から人が移り住み、後に大陸文化との懸け橋として栄えた歴史を持つ。その一方で、明治以降の近代化が太平洋側を中心として発展したことが幸いし、豊かな自然が手つかずのままに残り、独自の文化・風土を育んできた。能登漁火ユースホテルのある九十九(つくも)湾は内裏と呼ばれている。日本海の荒々しい波に直接さらされる能登半島北側の海岸と異なり、富山湾とも向かい合う穏やかな環境だ。九十九という名前は、大小の入り江が幾重にも重なり百近くにもなるということから名づけられたと言われている。

この美しい自然に抱かれるような環境で生まれ育ち、家業だった旅館の後を引き継いで以来53年間、この地でユースホテルを運営するのが浜野礼次郎マネージャーだ。「開業から半世紀、何とかなるという気持ちでやってきたら、何とかになりました」と優しい笑顔で話す。この笑顔に会いに、最初に訪れた当時は若者だったホステラーが、50代・60代になってもバイクに乗って訪れてくれるという。また、このホテルでたまたま出会った男女が結ばれ、子どもが生まれ、今度は家族と一緒に泊まりに来てくれるというような素敵なエピソードにも事欠かない。



**DATA**

**能登漁火ユースホステル**

〒927-0553

石川県鳳珠郡能登町小木ヨ51-6

Phone : 0768-74-0150

Email : isaribi@amber.plala.or.jp

Web : <http://www2.plala.or.jp/isaribi0150/>

ここでの「当たり前」は  
今や日本の宝物だった

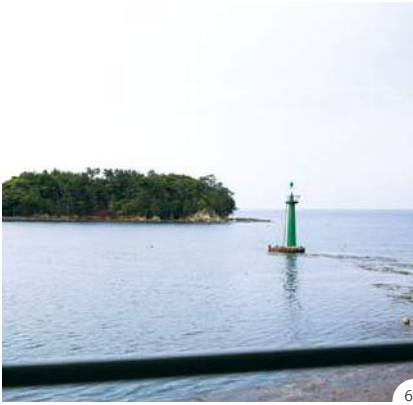
「特別なことをするのではなくて、当たり前のことを続けてきただけ」と語る浜野マネージャーのもう一つの顔は漁師だ。今でも海が凪いでいる日は、欠かさず朝早くから一本釣りの漁に出る。その日に獲れた魚をさばいて、新鮮な近海の海の幸をホステラーに味わってもらおうのだという。「何もないところですが、美味しい魚だけはあります。本マグロの子どものメジやメバル、サバ、アジなどが釣れます」。たくさん釣れた時には、近所の農家に配り、代わりに地元で育った野菜を分けてもらっている。だから、テーブルに並ぶ野菜はすべて顔の見える地元の農家で作ったものだという。ここには、日本の多くの地方で失われてしまった自然な地産地消\*の姿が今も息づいている。

\*地産地消…地域で獲れたものをその地域で消費することで、省エネルギーと地域活性化につながるという考え方



②夕食にはメバルの塩焼き、イカの姿焼き、野菜の煮しめなど、その日の朝に獲れた海の幸と地場の野菜が並ぶ ③④バケツ一杯のメバルやアジ、サバを釣り上げて戻って来たマネージャー ⑤対岸から見ると本当に船着き場の真ん前にユースホステルがあるのがわかる





⑥2階の部屋からは日本百景に選ばれた景色を眺め放題



⑦マネージャーの所有する漁船「多佳丸」。この船とのつきあ  
いも30年以上になるという



⑧朝夕にマネージャーが釣ってきた魚が食べられる1階の食  
堂からも、どこに座っても海が見える

## また帰ってきたくなる

## そんな場所に出会える幸せ

都会では、いろいろなものが慌ただしく変化していくが、ここに  
来れば、いつ来ても変わらないものがある。「私自身はずっとここ  
で暮らしているので、よくわからないのですが、『故郷に帰ってき  
たような気分になれる』と仰ってくださるホステラーの方が結構  
いらっしゃいますね」と浜野マネージャー。実際、「ホステラーが  
旅の思い出を自由に書き込めるように」と各部屋に置かれてい  
るノートには、「実家に帰ってきたよう」「また帰ってきたいです」  
という言葉があふれる。ユースホステルのマネージャーがペア  
レント(親)と呼ばれる理由、「親のように若者たちに安心して泊  
まれる宿を提供する」というユースホステルの理念を自然に実  
践しているとも言える。

窓のすぐ外には、日本百景に選ばれる九十九湾の美しい風景が  
広がっている。玄関から道をはさんだ向こうはすぐ海。目を閉じ

れば、波の音とウグイスの鳴き声心地よいハーモニーを奏で  
てくれる。「能登には能登の良さがあるし、都会には都会の良  
さがある。ここでは時間が止まっているみたいなものですね。自然  
が退屈だというのもわかるだろうし、その良さもわかるだろうし。  
それを味わってもらえたらと思います」という言葉に偽りはな  
い。しばし都会の慌ただしさを忘れて、ただぼんやりと海を眺め  
ているだけで、確かに心も体も癒されていくのを実感する。

「両親はもう亡くなっていますし、私は天涯孤独なので、ホステ  
ラーが家族のようなものですね」と話すマネージャーの目は限り  
なく優しくなった。「能登はやさしや土までも」という言葉がある  
が、そのような人柄、土地柄を体現したような出会いをぜひ、能  
登漁火ユースホステルで体験してほしい。



9



10



11



12

⑨毎年5月に行われる「とも旗祭り」。目の前の湾内を9隻の船が大漁旗を掲げて駆けめぐる勇壮なお祭りだ  
⑩階段の踊り場から見える裏山。6月にはアジサイが満開に ⑪3人までの宿泊が可能な和室 ⑫多人数  
での宿泊が可能な和室もある

Sightseeing guide map

# 浜野さんのオススメスポット



## 縄文真脇遺跡公園

真脇遺跡は北陸最大級の縄文時代の遺跡。写真は、栗の樹の丸太を半分に割って円形状に並べた「環状木柱列」(ウッドサークル)を再現したもの。当時の儀式に使われたらしい。

石川県鳳珠郡能登町字真脇48-100  
TEL : 0768-62-4800



## 真脇遺跡縄文館

真脇遺跡から出土され、国の重要文化財に指定された貴重な219点の発掘物を中心に展示、紹介している。真脇遺跡の魅力と縄文時代のリアルな生活について知ることができる。

石川県鳳珠郡能登町字真脇48-100  
TEL : 0768-62-4800



## のと海洋ふれあいセンター

九十九湾に面した自然保護センター。豊かな自然に恵まれる九十九湾の磯に住む多様な生き物を観察するなどの自然体験が楽しめる。夏期にはスノーケリングも体験できる。

石川県鳳珠郡能登町字越坂3-47  
TEL : 0768-74-1919



## 九十九湾遊歩道

九十九湾の湾岸沿いにジグザグに配置された飛び石を歩いてみると海の上を散歩している気分が味わえる。潮風や波の音を感じながら、日本百景を楽しむ最高のロケーションだ。

石川県鳳珠郡能登町字越坂  
TEL : 0768-62-8532  
(能登町ふるさと振興課)



## 恋路海岸

カップルや女子旅に人気の縁結びのパワースポット。近隣の恋路駅には廃線後も訪れる人が絶えず、トロッコの駅舎として甦り、グッドデザイン賞を受賞。予約すれば運転も楽しめる。

石川県鳳珠郡能登町恋路  
TEL : 0768-62-8532  
(能登町ふるさと振興課)



## 見附島

大陸の唐での修業から戻った空海(弘法大師)が海路で佐渡島を経て能登半島の沖を通った時に最初に見つけ(見附)た島だと言われている。その姿から地元では軍艦島とも呼ばれる。

石川県珠洲市宝立町鶴飼  
TEL : 0768-82-7776  
(珠洲市役所観光交流課)

